

あらためて「いじめ・不登校」を問う

講師 日本生徒指導学会会長・鳴門教育大学大学院特任教授・大阪市立

大学名誉教授 森田 洋司先生

いじめの認知件数の増加、不登校児童生徒の増加が大きな社会問題になっています。そこで、『不登校現象』の社会学』(学文社)「いじめ—教室の病い」(金子書房)で、不登校問題・いじめ問題の研究の基盤を築き、本質的な問題提起をし、現在なお第一線で研究活動を続け世界各国との研究協力を築いている森田洋司先生を招いて教育社会学、社会病理学の立場からのご講演を企画しました。

今こそ。あらためて「いじめ問題」「不登校問題」について考えていきたいと思います。

森田洋司先生は、1941年名古屋市でお生まれになり、長く大阪市立大学文学部教授を勤めていました。文部科学省で「不登校の追跡調査」「不登校に関する調査研究協力者会議」「生徒指導提要作成委員会」「いじめ防止協議会」などの座長を勤め、先生が切り開いた研究は「潜在的な不登校」「いじめの4層構造」など、今日の学校教育や学校臨床心理学の基礎基本になっています。日本の不登校問題やいじめ問題の研究は、森田先生が研究の基礎を作っていました。

森田先生プロフィール

- 日本生徒指導学会会長、鳴門教育大学大学院特任教授、大阪市立大学名誉教授、大阪樟蔭女子大学前学長。
- 日本犯罪社会学学会会長、日本社会病理学会会長、日本被害者学会会長などの学会の要職を歴任。
- 現在、日本生徒指導学会会長、第8期中央教育審議会委員。
- 文部科学省「いじめ防止対策協議会」座長。文部科学省「不登校に関する調査研究協力者会議」座長を勤めています。
- 主な研究業績は、『不登校現象』の社会学』(学文社)「いじめとは何か」(中公新書)「いじめ—教室の病い」(金子書房)「いじめの国際比較」(金子書房)「世界のいじめ」(金子書房)「学校におけるいじめ—国際的に見たその特徴と取組の戦略」(学事出版)等多数に及びます。
- 教育社会学、社会病理学がご専門で、現在も第一線でご活躍中です。

日時 11月24日(日)

10:00 ~ 12:00 (開場 9:30)

会場 東京家政大学 15号館 152A 教室

参加費 一般・大学院生(学生含む)

無料

主催 東京家政大学附属臨床相談センター

共催 東京家政大学学修・教育開発センター

【申込方法】 裏面の参加申込書に記入して、事務局宛に FAX または郵送で送付してください。

【申し込み・問い合わせ先】

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

東京家政大学附属臨床相談センター

TEL03-3961-0770 FAX03-3961-0769

ホームページ

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp>

東京家政大学附属臨床相談センター公開講演会（11月24日）

参加申込書

年 月 日

ふりがな 氏名	一般・大学院生・学生
住所 〒	
電話（ 自宅 ・ 勤務先 ・ 携帯 ）	所属

送信先 東京家政大学附属臨床相談センター

FAX 03-3961-0769